

ホーム画面の使い方

iPhoneのホーム画面では、アイコンをタップしてアプリを起動したり、ホーム画面を左右に切り替えたりすることができます。また、Appライブラリを確認することも可能です。



1 iPhoneのホーム画面

画面上部：インターネットへの接続状況や現在の時刻、バッテリー残量などのiPhoneの状況が表示されます。

ウィジェット：ニュースや天気など、さまざまなカテゴリの情報をウィジェットで確認することができます（Sec.06参照）。

Appアイコン：インストール済みのアプリのアイコンが表示されます。

ホーム画面の位置：ホーム画面の数と、現在の位置を表します。



Dock：よく使うアプリのアイコンを最大4個まで設置できます。ホーム画面を切り替えても常時表示されます。

MEMO 拡大表示

iPhone 13はアイコンや文字を若干大きく表示する「拡大表示」の機能を利用できます。拡大表示を利用するには、ホーム画面で<設定>→<画面表示と明るさ>→<表示>→<拡大>→<設定>→<“拡大”を使用>の順にタップします。



2 ホーム画面を切り替える

● ホーム画面を切り替える

- 1 ホーム画面を左方向にスワイプします。



- 2 右隣のホーム画面が表示されます。画面を右方向にスワイプする、もしくは画面下部を上方向にスワイプすると、もとのホーム画面に戻ります。



● 情報を表示する

- 1 ホーム画面を何度か右方向にスワイプすると、左端の画面でウィジェット（Sec.06参照）が表示され、それぞれの情報をチェックできます。



- 2 何度か左方向にスワイプすると、右端に「Appライブラリ」画面が表示されます（P.240参照）。画面を右方向にスワイプすると、ホーム画面に戻ります。



写真や動画を編集・補正する

iPhone内の写真や動画を編集してみましょう。明るさの自動補正のほか、「傾き補正」や「フィルタ」、「調整」などを利用できます。また、動画の編集ではトリミングで長さを変更できます。



6 写真を編集する

- 1 P.158を参考に、編集したい写真を表示し、画面右上の「編集」をタップします。



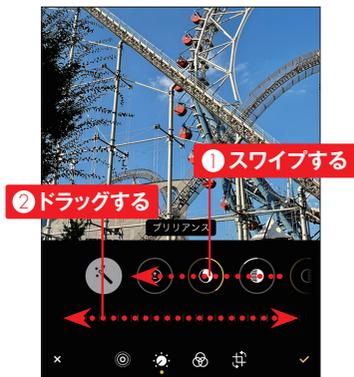
- 2 「調整」画面が表示され（ポートレートモードの写真はP.168～169参照）、明るさやコントラストなどの補正が行えます。ここでは「調整」アイコンをタップします。



- 3 写真が自動補正されます。アイコンの下に表示される目盛りを左右にドラッグすると、好みに合わせた補正ができます。



- 4 より詳細な補正を行いたい場合は、補正項目のアイコンを左にスワイプし、目盛りを左右にドラッグして細かく調整します。



MEMO 編集中に編集前の画像を確認する

写真を編集中に編集を行う前のオリジナル画像を確認したいときは、表示されている写真をタップします。どれくらいの補正ができていないか、すばやく確認することができます。

- 5 フィルタをかけてカラーエフェクトをかんたんに設定したいときは「フィルタ」アイコンをタップします。



- 6 フィルタ部分を左右にスワイプし、フィルタを設定します。フィルタの下の目盛りを左右にドラッグすると、フィルタの強度の調整ができます。



- 7 写真をトリミングするには「トリミング」アイコンをタップします。



MEMO そのほかの編集機能

編集中の画面上部の「手書き」アイコンをタップすると、写真内に手書き入力ができます。

- 8 写真に傾きがある場合は自動で補正されます。画面下部のアイコンと目盛りで写真の角度や歪みの調整ができます。また、「傾き補正」アイコンをタップすると左右反転ができ、「傾き補正」アイコンをタップすることにより写真が90度回転します。「傾き補正」アイコンをタップします。



- 9 画面下部で写真の大きさを選択することでかんたんにトリミングができます。自由な大きさにしたいときは、枠の四隅をドラッグしてトリミング位置を調整します。完了をタップすると写真が保存されます。



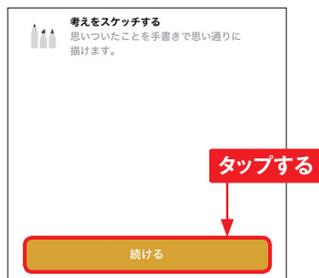
メモを利用する

iPhoneの<メモ>アプリでは、通常のキーボード入力に加えて、スケッチの作成や、写真の挿入などが可能です。 iCloudと同期すれば、作成したメモをほかのiPhoneやiPadと共有できます。



メモを作成する

- 1** ホーム画面で<メモ>をタップします。初回起動時は説明画面が表示されるので、<続ける>をタップします。



- 2** 「メモ」フォルダがある場合は<メモ>をタップして、をタップします。



- 3** 新規メモの作成画面が表示されます。キーボードで、文字や絵文字を入力することができます。入力が完了したら、<完了>をタップし、保存します。



- 4** 手順③の画面でAaをタップすると、下のメニューから文字の大きさや太さ、装飾などを選ぶことができます。



<メモ>アプリの機能

● 手書きスケッチ



P.188手順③の画面でAaをタップすると、手書き入力モードに切り替わります。画面をドラッグすることで、文字や絵を描くことができます。

● タグ



メモではタグを利用できます。「#」に続けてタグにしたい言葉を入力します。タグは1つのメモに複数挿入可能で、タグで検索できるほか、タグごとのカスタムスマートフォルダも利用できます。

● メモのピン留め



P.188手順②の画面でメモを右方向にスワイプし、をタップすると、画面上部にピン留めできます。解除するときは、固定したメモを右方向にスワイプし、をタップします。

● 写真内の文字検索



P.188手順②の画面で<検索>をタップすると、メモのテキスト以外にも手書きのテキスト、写真、スキャンした書類の文字検索ができます。なお、日本語表記(かな/カタカナ)には対応していません。

Appライブラリを利用する

● 自動分類



Appライブラリでは、iPhoneにインストールされているすべてのアプリがカテゴリごとに自動分類されています。各カテゴリには、よく使うアプリが表示され、タップして起動できます。複数の小さなアプリアイコンが表示されている場合は、小さなアプリアイコンをタップすることでカテゴリが展開されます。

● 最近追加した項目



「最近追加した項目」には、直近にインストールしたアプリが表示されます。

● 検索



「Appライブラリ」画面上部の検索欄にアプリ名を入力し、キーボードの「検索」をタップすると、iPhoneにインストールされているすべてのアプリを検索できます。

● 提案



「提案」には、すべてのアプリの中でもっともよく利用するアプリが表示されます。

ホーム画面を非表示にする

① ホーム画面の何もないところをタッチし、画面下部に並んでいる丸印をタップします。



② 非表示にしたいホーム画面の丸印をタップして「非表示にする」にし、「完了」をタップします。なお、ホーム画面をタッチしてドラッグすることで、順番を入れ替えることができます。



③ 丸印が非表示にしたホーム画面の数だけ減ります。画面右上の「完了」をタップしてホーム画面を保存します。



MEMO 新しいアプリのダウンロード先を変更する

ホーム画面を非表示にすると、新しいアプリをダウンロードしたときにアプリアイコンがホーム画面に追加されなくなり、Appライブラリから起動する必要があります。新しいアプリをホーム画面に追加する設定に戻すには、ホーム画面で「設定」→「ホーム画面」の順にタップし、「ホーム画面に追加」をタップして選択します。



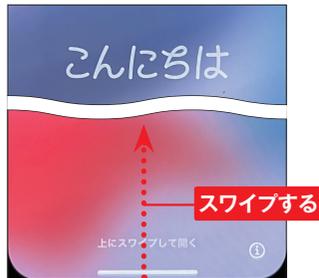
iPhoneの 初期設定を行う

iPhoneを初期化すると、再起動後に初期設定を行う必要があります。初期設定は画面の指示に従って項目を設定するだけなので、かんたんに行うことができます。



iPhoneの初期設定をする

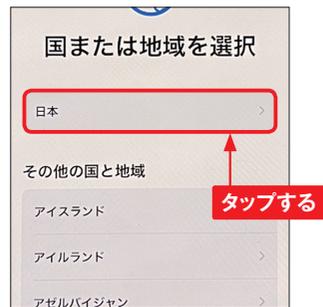
- ① Sec.80の方法で初期化すると再起動され、下の画面が表示されます。画面下部を上方向にスワイプします。



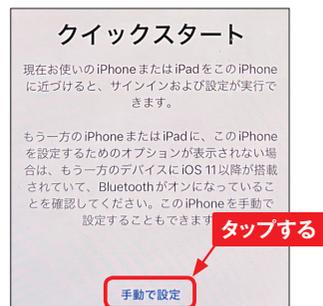
- ② <日本語>をタップします。



- ③ 「国または地域を選択」画面が表示されます。<日本>をタップします。



- ④ 「クイックスタート」画面が表示されるので、<手動で設定>をタップします。



- ⑤ 「文字入力および音声入力の言語」画面が表示されます。「優先する言語」「キーボード」「音声入力」に問題がなければ<続ける>をタップします。変更したい場合は<設定をカスタマイズする>をタップして変更します。



- ⑥ 「Wi-Fiネットワークを選択」画面が表示されます。回線をタップします。Wi-Fiを設定しない場合は、<モバイルデータ通信回線を使用>をタップします。



- ⑦ 手順⑥でタップした回線のパスワードを入力し、<接続>→<次へ>の順にタップします。



- ⑧ 「データとプライバシー」画面で<続ける>をタップすると、「Face ID」画面が表示されます。<あとでセットアップ>をタップします。Face IDを設定する場合は、Sec.68を参考に設定します。



- ⑨ 「パスコードを作成」画面が表示されます。Sec.67を参考に6桁のパスコードを2回入力します。



MEMO 古いiPhoneからの移行

iPhone1には、かんたんに情報を移行できる「クイックスタート」が用意されています。P.280手順④の画面で古いiPhoneと新しいiPhoneを近付けるだけで、Wi-Fiの設定やApple IDのメールアドレス、パスワードなどの設定情報を移行できます。また、新旧iPhoneともに、iOS 12.4以降であれば、全データを直接転送することができます。